

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式										
E111C017		家庭(小)(Home Economics (Elementary School))																	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
必修	1	1	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 望月 聡, 都甲由紀子, 川田菜穂子, 齊藤友子 E-mail 望月: smochi@oita-u.ac.jp 都甲: togo-yukiko@oita-u.ac.jp 川田: kawata@oita-u.ac.													
授業の概要	小学校家庭科の教科書の記載内容を確実に理解するとともに、分野別の特徴を理解し、必要な技能等を修得する。それぞれの領域のもつ特徴を理解したうえで家庭科指導法(小)につなげる。																		
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 小学校家庭科教科書に記載されている内容を説明できる。																			
目標2 それぞれの分野の基礎知識を説明できる。																			
目標3 布を用いた製作に関する基本的な実技ができる。																			
目標4																			
目標5																			
目標6																			
目標7																			
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1	ガイダンス																		
2	食品の特徴と調理の基礎(担当:望月 聡)																		
3	栄養素とその働き(担当:望月 聡)																		
4	住教育の課題と工夫(担当:川田菜穂子)																		
5	住生活に関する学習内容(担当:川田菜穂子)																		
6	子どもの成長と「家庭生活と家族」のかかわり(担当:齊藤友子)																		
7	家族と家族を取り巻く地域の人々(担当:齊藤友子)																		
8	布を用いた製作実習(担当:都甲由紀子)																		
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
ラ ッ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認		小テスト、布を用いた製作実習					工 夫 そ の 他 の											
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	事前に提供された資料等に基づいて予習する(7h)																	
	事後学修	授業中に課された課題に取り組む(7h)																	
		授業中に指示された実習に取り組む(3h)																	
教科書	「わたしたちの家庭科 小学校5・6」開隆堂 令和2年発行 文部科学省 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編 平成30年発行																		
参考書	中西雪夫・小林久美・貴志倫子編著「小学校家庭科の授業をつくる一理論・実践と基礎知識」学術図書出版社 お茶の水女子大学附属学校家庭科研究会著「作る手が子どもたちを輝かす アクティブラーニングが育てる これからの家庭科」地域教材社 鶴田敦子・伊藤葉子編著「授業力UP 家庭科の授業」日本標準																		
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10							
	期末試験	45%																	
	課題	40%																	
	製作実習	15%																	
注意事項	ガイダンスは生活科の最終講義の後(同時限内)に実施します。																		
備考	担当者の都合により、分野別に講義の順番が入れ替わることがあります。 製作実習では、費用の自己負担があります。																		
リンク																			
	URL																		

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	食品企業勤務、高等学校非常勤教員（望月）、住宅企業勤務（川田）、カウンセラー（齋藤）、高等学校・中学校教諭（都甲）
実務経験を いかした教 育内容	教育現場の具体的な課題に焦点を当てた内容を扱います。